

<震災対応特別セッションのお知らせ>

東日本大震災から半年近くになりますが、農業・農村はいまだ甚大な被害・損傷から回復できない状態にあります。水田土壌の除塩や灌漑排水施設の損壊、農業用ハウスなど各種施設の復旧等これまでにない復旧再生のための技術が求められています。しかし、これら農村や農地の再生は我々農業工学会の各学協会がこれまで蓄積した科学の延長上にある課題であります。既に各学協会は被災現場に入り様々な復旧活動を行っていると聞きます。

本会5月総会で提案がございました学会の震災対応の取り組みとしてCIGR国際シンポジウムに向けた特別セッションの実施することになりました。海外からの研究者を交え現状と課題について意見交換を行いたいと思います。

なお、本特別セッションの企画は農業農村工学会、農村計画学会、農業機械学会の協力をいただいております。

各学協会や関係者にもご周知いただき、ご参加よろしくお願ひいたします。

農業工学会長 町田 武美

特別セッション 発表は英語

期日：9月20日 13:00～15:30

会場：CIGR 大会会場(タワーホール船堀) 4F 研修室

<特別セッション内容>

メインテーマ：「東日本大震災と農業・農村の再生」

オーガナイザー： 山路永司(東京大学)

- 1) 水利施設の被災と復旧(仮題) 中 達雄(農工研)
津波の全容、沿岸の被災、排水機場等の被災、復旧計画、など
- 2) 塩害農地と復旧(仮題) 嶋 栄吉(北里大)
水田復旧の基本、水田復旧の事例、など
- 3) 機械技術からみた復興の展望(仮題) 澁澤 栄(農工大)
農作業機械・農業施設・担い手を現場レベルで
- 4) 農村社会の再構築への取り組み(仮題) 橋本 禅(京都大)
類型化、土地利用計画、集落移転計画、合意形成、など

なお9月22日 13時～15時 CIGR会場内(401)で震災対応「農地再生の課題と学協会連絡会」を開催する予定です。

問合せ：オーガナイザー 山路永司 電話：04-7136-4875 Mail：yamaji@k.u-tokyo.ac.jp